(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2020-6882
(P2020-6882A)
(43)公開日　令和2年1月16日(2020.1.16)

(51)Int.Cl.		F I			テーマコード（参考）
B60N 2/90	(2018.01)	B60N	2/90		3B087
B60N 2/42	(2006.01)	B60N	2/42		3D018
B60R 22/18	(2006.01)	B60R	22/18	118	
B60R 22/26	(2006.01)	B60R	22/26		

審査請求 未請求　請求項の数 2　OL　（全 8 頁）

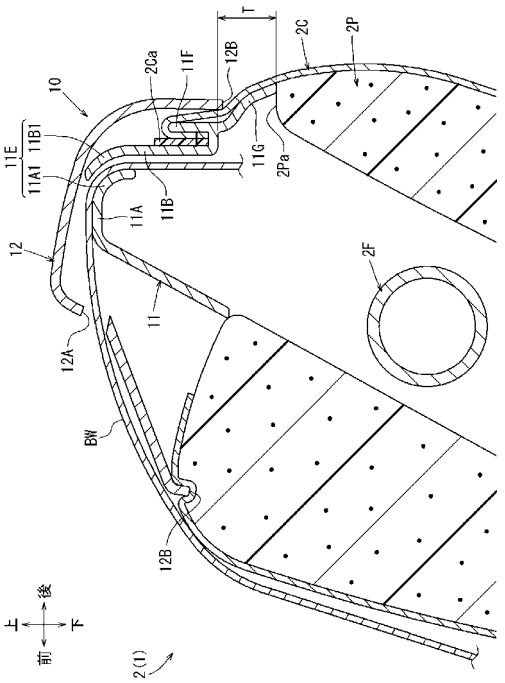
(21)出願番号　特願2018-131479 (P2018-131479)
(22)出願日　平成30年7月11日 (2018.7.11)

(71)出願人　000241500
トヨタ紡織株式会社
愛知県刈谷市豊田町１丁目１番地
(74)代理人　110000394
特許業務法人岡田国際特許事務所
(72)発明者　柴田　篤志
愛知県刈谷市豊田町１丁目１番地　トヨタ紡織株式会社内

Fターム(参考)　3B087 CD04　DB02　DE06
3D018 CA09　CB02

(54)【発明の名称】乗物用シート

(57)【要約】
【課題】乗物用シートのベルトガイドに対するシートカバーの位置固定をより適切に行えるようにすること。
【解決手段】シートバック２の肩口部に設けられたベルトガイド１０と、シートバック２を表皮材で覆うバックカバー２Ｃ（シートカバー）と、を有するシート１である。ベルトガイド１０が、シートバック２の骨格を成すバックフレーム２Ｆに固定されてベルトウェビングＢＷをガイドするガイド本体１１と、ガイド本体１１に被せ付けられるケース１２と、を有する。ガイド本体１１が、ガイド本体１１とケース１２との間を通って引き込まれるバックカバー２Ｃの端末を止着させる止着部１１Ｆを有する。
【選択図】図２



【特許請求の範囲】
【請求項１】
シートバックの肩口部に設けられたベルトガイドと、前記シートバックを表皮材で覆うシートカバーと、を有する乗物用シートであって、
前記ベルトガイドが、前記シートバックの骨格を成すシートフレームに固定されてベルトウェビングをガイドするガイド本体と、該ガイド本体に被せ付けられるケースと、を有し、
前記ガイド本体が、該ガイド本体と前記ケースとの間を通って引き込まれる前記シートカバーの端末を止着させる止着部を有し、
前記止着部が、前記シートカバーにより被覆されるシートパッドの前記ベルトガイドに臨む端部よりも高い位置に設けられ、
前記ガイド本体が、前記止着部と前記シートパッドの前記端部との間の隔たり領域に延出して同隔たり領域に覆われる前記シートカバーを裏支えする形状出し部を有する乗物用シート。
【請求項２】
請求項１に記載の乗物用シートであって、
前記止着部が、前記シートカバーの端末に沿って取り付けられた引掛プレートを前記シートカバーの端末の引き込み方向とは反対方向に差し込んで止着させる上向き開口形状の引掛部とされる乗物用シート。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、乗物用シートに関する。詳しくは、シートバックの肩口部に設けられたベルトガイドと、シートバックを表皮材で覆うシートカバーと、を有する乗物用シートに関する。
【背景技術】
【０００２】
従来、車両用シートにおいて、シートバックの肩口部にベルトウェビングの引出口となるベルトガイドが設定された構成が知られている（特許文献１）。上述したベルトガイドは、シートバックのフレームに固定されており、同ベルトガイドの設置領域では、シートフレームを覆うシートパッドやシートカバーの端末がベルトガイドの下に引き込まれる形に処理されている。具体的には、上記ベルトガイドの設置領域に臨むカバーの端末は、ベルトガイドを構成するガイド本体と同ガイド本体に被せ付けられるケースとの間に挟持されて位置保持された状態に組み付けられている。
【先行技術文献】
【特許文献】
【０００３】
【特許文献１】特許第５１８７８８９号公報
【発明の概要】
【発明が解決しようとする課題】
【０００４】
上記従来技術では、ベルトガイドに対するカバーの位置固定が、ベルトガイドの組み付け部品間の挟持力でのみしか担保されないため、不安定である。本発明は、上述した問題を解決するものとして創案されたものであって、本発明が解決しようとする課題は、乗物用シートのベルトガイドに対するシートカバーの位置固定をより適切に行えるようにすることにある。
【課題を解決するための手段】
【０００５】
上記課題を解決するために、本発明の乗物用シートは次の手段をとる。
【０００６】

第１の発明は、シートバックの肩口部に設けられたベルトガイドと、シートバックを表皮材で覆うシートカバーと、を有する乗物用シートである。ベルトガイドが、シートバックの骨格を成すシートフレームに固定されてベルトウェビングをガイドするガイド本体と、ガイド本体に被せ付けられるケースと、を有する。ガイド本体が、ガイド本体とケースとの間を通って引き込まれるシートカバーの端末を止着させる止着部を有する。止着部が、シートカバーにより被覆されるシートパッドのベルトガイドに臨む端部よりも高い位置に設けられる。ガイド本体が、止着部とシートパッドの端部との間の隔たり領域に延出して同隔たり領域に覆われるシートカバーを裏支えする形状出し部を有する。

【０００７】

この第１の発明によれば、ガイド本体にシートカバーの端末を止着させる止着部が形成されていることで、ベルトガイドのガイド本体とケースとの間を通って引き込まれるシートカバーの端末をベルトガイドに適切に位置固定することができる。また、シートパッドの端部がガイド本体の止着部より低い位置までしか設けられない構成であっても、ガイド本体から延びる形状出し部によりシートカバーを裏支えして、シートカバーを狙いとする外形形状に仕上げることができる。また、シートカバーがガイド本体の止着部に高さ方向に引き込まれて止着される構成となることから、シートカバーが外力により押し撓まされても、シートカバーとベルトガイドとの間に形成される隙間を外部に対して見せにくくすることができる。

【０００８】

第２の発明は、上述した第１の発明において、次の構成とされているものである。止着部が、シートカバーの端末に沿って取り付けられた引掛プレートをシートカバーの端末の引き込み方向とは反対方向に差し込んで止着させる上向き開口形状の引掛部とされる。

【０００９】

この第２の発明によれば、ビス等の別部材を用いることなく、シートカバーの端末を止着部に簡便に止着させることができる。

【図面の簡単な説明】

【００１０】

【図１】実施例１の乗物用シートの概略構成を表した斜視図である。

【図２】図１のＩＩ－ＩＩ線断面図である。

【図３】図１のＩＩＩ－ＩＩＩ線断面図である。

【発明を実施するための形態】

【００１１】

以下に、本発明を実施するための形態について、図面を用いて説明する。

【実施例１】

【００１２】

《シート１の概略構成について》

始めに、実施例１のシート１（乗物用シート）の構成について、図１～図３を用いて説明する。なお、以下の説明において、前後上下左右等の各方向を示す場合には、各図中に示されたそれぞれの方向を指すものとする。

【００１３】

図１に示すように、本実施例のシート１は、３列シートを備えた自動車の２列目の右側座席として構成されている。上述したシート１は、着座乗員の背凭れ部となるシートバック２と、着座部となる不図示のシートクッションと、頭凭れ部となるヘッドレスト３と、を備えた構成とされている。上述したシート１は、シートバック２の内部にシートベルト装置１０の巻取り機となる不図示のシートベルトリトラクタを内蔵して、同シートベルトリトラクタから繰り出されたベルトウェビングＢＷを、シートバック２の右側の肩口部に設けられたベルトガイド１０の引出口１２Ａから前側に引き出させた状態として備える構成とされている。

【００１４】

上述したベルトウェビングＢＷの引出口１２Ａから前側に引き出された先の部分は、シ

ートバック２の天板面上を垂れ下がり状に延びて、その先の端部が、不図示のアンカレッジによりシートクッションの右後ろ側の足元部分に固定されている。なお、上述したアンカレッジは、シートクッションの他、車体に固定される構成であってもよい。上述したベルトガイド１０は、詳しくは、上述したシートバック２の右側の肩口部の上面から突出した形となって設けられている。そして、上述したベルトガイド１０は、その前面部分に、上述したベルトウェビングＢＷの引出口１２Ａが横長状に開口した形となって形成されている。

【００１５】

上述したベルトガイド１０は、図２～図３に示すように、シートバック２の骨格を成すバックフレーム２Ｆ（図２参照）の肩口部分に固定されてベルトウェビングＢＷをガイドする樹脂製のガイド本体１１と、同ガイド本体１１に上側から被せ付けられる樹脂製のケース１２と、から成る内外２重のガイド構造により構成されている。詳しくは、図２に示すように、上述したガイド本体１１は、逆さ向きの略容器形状に形成されており、その天板部１１Ａと後壁部１１Ｂとの間にベルトウェビングＢＷを下側から前上側へと斜めに通す通し部１１Ｅが形成された構成とされている。ここで、上述したバックフレーム２Ｆが本発明の「シートフレーム」に相当する。

【００１６】

上述した通し部１１Ｅは、ガイド本体１１の天板部１１Ａの後縁部分に形成された後下向きに湾曲する形となって延びる内曲げ部位１１Ａ１と、ガイド本体１１の後壁部１１Ｂの上縁部分に形成された上記内曲げ部位１１Ａ１に沿って上前向きに湾曲する形となって延びる外曲げ部位１１Ｂ１と、によって、ベルトウェビングＢＷをこれらの間に沿って下側から前上側へと斜めに通すことができる形となって形成されている。

【００１７】

また、上述したガイド本体１１の後壁部１１Ｂの下縁部分には、シートバック２の背面に被覆されるバックカバー２Ｃのベルトガイド１０に臨む端部を引掛けて止着させる止着部１１Ｆが形成されている。また、図３に示すように、上述したガイド本体１１の天板部１１Ａの左縁部分から垂れ下がり状に延びる内側壁部１１Ｃの下縁部分にも、上記と同様にシートバック２の上面に被覆されるバックカバー２Ｃのベルトガイド１０に臨む端部を引掛けて止着させる止着部１１Ｆが形成されている。

【００１８】

更に、上述したガイド本体１１の天板部１１Ａの右縁部分から垂れ下がり状に延びる外側壁部１１Ｄの下縁部分にも、上記と同様にシートバック２の右側面に被覆されるバックカバー２Ｃのベルトガイド１０に臨む端部を引掛けて止着させる止着部１１Ｆが形成されている。ここで、バックカバー２Ｃが本発明の「シートカバー」に相当する。

【００１９】

上述したバックカバー２Ｃは、ファブリック製の表皮材により構成されており、シートバック２内に設けられたクッション材となる発泡ウレタン製のバックパッド２Ｐを外部に対して被覆する形に張設されている。上述したバックカバー２Ｃは、そのベルトガイド１０に臨む各端部が上記のようにガイド本体１１の対応する各止着部１１Ｆに止着されることにより、各端末がベルトガイド１０内に適切に位置固定された状態とされている。

【００２０】

そして、上記の位置固定により、バックカバー２Ｃによって被覆されたバックパッド２Ｐのベルトガイド１０に臨む各端部２Ｐａも、バックカバー２Ｃを介して適切に位置固定された状態として保持されるようになっている。ここで、バックパッド２Ｐが本発明の「シートパッド」に相当する。

【００２１】

上述したバックパッド２Ｐのベルトガイド１０に臨む各端部２Ｐａは、図２～図３に示すように、上述したガイド本体１１の周囲部に形成された各止着部１１Ｆよりも低い位置までしか上側に延出しない形状に形成されている。その理由は、上述したバックパッド２Ｐのベルトガイド１０に臨む各端部２Ｐａは、シートバック２の肩口部に向かって漸次、

肉厚が先細り状に薄くなっていく形状領域を通る部位となっているからである。
【００２２】
すなわち、上述したバックパッド２Ｐのベルトガイド１０に臨む各端部２Ｐａを、上述したベルトガイド１０の各止着部１１Ｆに届く領域まで先細り状に延ばしていくと、バックパッド２Ｐの肉厚が薄くなり過ぎて成形不具合を招く恐れがある。そのために、バックパッド２Ｐのベルトガイド１０に臨む各端部２Ｐａは、上述した各止着部１１Ｆよりも低い位置までしか上側に延出しない形状、すなわち、肉厚が薄くなり過ぎない位置までしか延びない形状に留められている。
【００２３】
そこで、上述したガイド本体１１には、各止着部１１Ｆの下端から、各止着部１１Ｆの下端と上述したバックパッド２Ｐの各端部２Ｐａとの間の隔たり領域Ｔへと延出して、同隔たり領域Ｔに覆われる上述したバックカバー２Ｃを裏支えするように機能する形状出し部１１Ｇが形成されている。上記各形状出し部１１Ｇにより、上述したバックパッド２Ｐを被覆するバックカバー２Ｃが、上記各隔たり領域Ｔにおいても、バックパッド２Ｐの外周面と面一状に連なる形となるように裏側から形状出しされて、見栄えの良い意匠を形成することができるようになっている。
【００２４】
上述したガイド本体１１の各止着部１１Ｆは、上向き開口する断面略Ｊ字状の引掛形状に形成されており、上述したバックカバー２Ｃのベルトガイド１０に臨む各端部に沿って取り付けられた樹脂製長尺状の各引掛プレート２Ｃａを上側から引掛けることで、上述したバックカバー２Ｃの各端部をバックカバー２Ｃの上側への引き込み力（テンション）に抗して止着させた状態に保持することができるようになっている。
【００２５】
ケース１２は、図２に示すように、逆さ向きの略容器形状に形成されており、その前壁部分に、上述したガイド本体１１の通し部１１Ｅから繰り出されたベルトウェビングＢＷを後側から前側へと通す引出口１２Ａが形成された構成とされている。上述したケース１２は、上述したガイド本体１１に上側から覆い被せる形にセットされて、不図示のビスの締結具によりその所々の箇所が上述したバックフレーム２Ｆの肩口部分に固定されている。
【００２６】
上記組み付けにより、ケース１２は、その前後左右の各壁部の下縁部分に形成された各押さえ部１２Ｂが、上述した各形状出し部１１Ｇにより裏支えされたバックカバー２Ｃの各面部上に押さえ付けられて、これら形状出し部１１Ｇとの間でバックカバー２Ｃの各面部を押し挟んだ状態としてセットされるようになっている。それにより、ケース１２は、上述したガイド本体１１の各形状出し部１１Ｇとの間でバックカバー２Ｃの各面部を押し挟んだ状態に保持して、バックカバー２Ｃが外力により押し撓まされても、バックカバー２Ｃとの間に隙間をしにくくすることができるようになっている。
【００２７】
《まとめ》
以上をまとめると、本実施例のシート１は、次のような構成とされている。すなわち、シートバック（２）の肩口部に設けられたベルトガイド（１０）と、シートバック（２）を表皮材で覆うシートカバー（２Ｃ）と、を有する乗物用シート（１）である。
【００２８】
ベルトガイド（１０）が、シートバック（２）の骨格を成すシートフレーム（２Ｆ）に固定されてベルトウェビング（ＢＷ）をガイドするガイド本体（１１）と、ガイド本体（１１）に被せ付けられるケース（１２）と、を有する。ガイド本体（１１）が、ガイド本体（１１）とケース（１２）との間を通って引き込まれるシートカバー（２Ｃ）の端末を止着させる止着部（１１Ｆ）を有する。
【００２９】
また、止着部（１１Ｆ）が、シートカバー（２Ｃ）により被覆されるシートパッド（２

Ｐ）のベルトガイド（１０）に臨む端部（２Ｐａ）よりも高い位置に設けられる。ガイド本体（１１）が、止着部（１１Ｆ）とシートパッド（２Ｐ）の端部（２Ｐａ）との間の隔たり領域（Ｔ）に延出して同隔たり領域（Ｔ）に覆われるシートカバー（２Ｃ）を裏支えする形状出し部（１１Ｇ）を有する。

【００３０】

このように、ガイド本体（１１）にシートカバー（２Ｃ）の端末を止着させる止着部（１１Ｆ）が形成されていることで、ベルトガイド（１０）のガイド本体（１１）とケース（１２）との間を通って引き込まれるシートカバー（２Ｃ）の端末をベルトガイド（１０）に適切に位置固定することができる。

【００３１】

また、シートパッド（２Ｐ）の端部（２Ｐａ）がガイド本体（１１）の止着部（１１Ｆ）より低い位置までしか設けられない構成であっても、ガイド本体（１１）から延びる形状出し部（１１Ｇ）によりシートカバー（２Ｃ）を裏支えして、シートカバー（２Ｃ）を狙いとする外形形状に仕上げることができる。また、シートカバー（２Ｃ）がガイド本体（１１）の止着部（１１Ｆ）に高さ方向に引き込まれて止着される構成となることから、シートカバー（２Ｃ）が外力により押し撓まされても、シートカバー（２Ｃ）とベルトガイド（１０）との間に形成される隙間を外部に対して見せにくくすることができる。

【００３２】

また、止着部（１１Ｆ）が、シートカバー（２Ｃ）の端末に沿って取り付けられた引掛プレート（２Ｃａ）をシートカバー（２Ｃ）の端末の引き込み方向とは反対方向に差し込んで止着させる上向き開口形状の引掛部とされる。このような構成とされていることにより、ビス等の別部材を用いることなく、シートカバー（２Ｃ）の端末を止着部（１１Ｆ）に簡便に止着させることができる。

【００３３】

《その他の実施形態について》

以上、本発明の実施形態を１つの実施例を用いて説明したが、本発明は上記実施例のほか各種の形態で実施することができるものである。例えば、本発明の乗物用シートの構成は、鉄道等の自動車以外の車両や、航空機、船舶等の様々な乗物用に供されるシートにも広く適用することができるものである。また、本発明の構成は、一人掛け用のシートの他、ベンチシート等の複数人掛け用のシートにも適用することができるものである。

【００３４】

また、シートカバーは、各種皮革材等のファブリック材以外の表皮材から成るものであってもよい。また、ベルトガイドを構成するガイド本体及びケースは、樹脂材の他、金属材から成るものであってもよい。また、シートカバーの端末に沿って取り付けられる引掛プレートも、樹脂材の他、金属材から成るものであってもよい。

【００３５】

また、ガイド本体に形成される止着部は、シートカバーの端末をフックの引掛けにより止着させる構造の他、ビス等の差込み式の締結具を用いた締結手段や面ファスナ、ホック等の他の結合手段を用いて止着させる構造であってもよい。上記ガイド本体に形成される止着部は、シートカバーの端末に設けられるＪフック等の引掛形状を持つ部位を引掛けられる孔や突起から成る構成であってもよい。

【００３６】

また、ベルトガイドは、シートバックの骨格を成すシートフレームに固定されてベルトウェビングをガイドするガイド本体と、ガイド本体に被せ付けられるケースと、を有する内外２重のガイド構造から成るものであれば良く、ベルトウェビングを引き出す引出口が、前側に開口する形状とされるものの他、上側に開口する形状とされたものであってもよい。

【００３７】

また、ベルトガイドは、シートバックにベルトウェビングの巻取り装置であるリトラクタが内蔵される、いわゆるベルトインシートに搭載されるものの他、車両のピラー部から

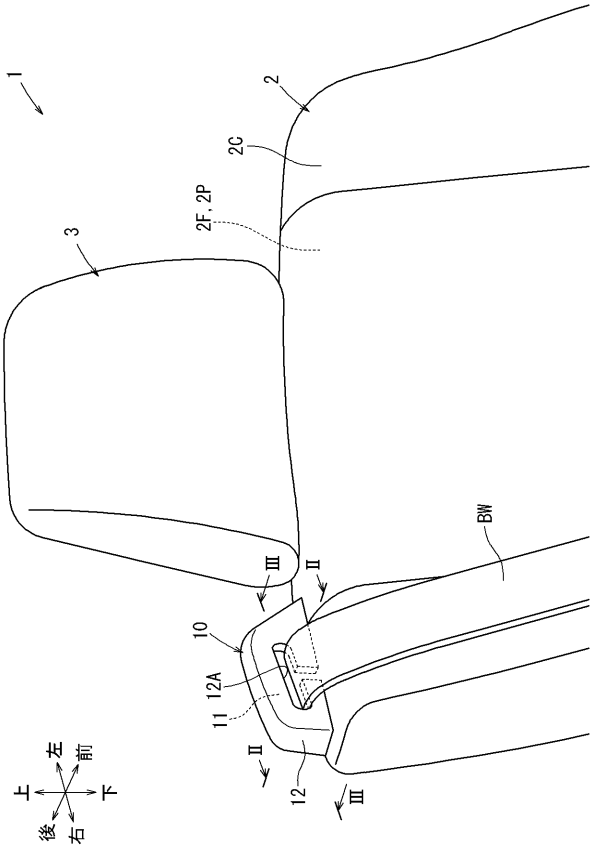
引き出されたベルトウェビングの途中箇所をシートバックの肩口部にてガイドするように設けられる構成であってもよい。

【符号の説明】

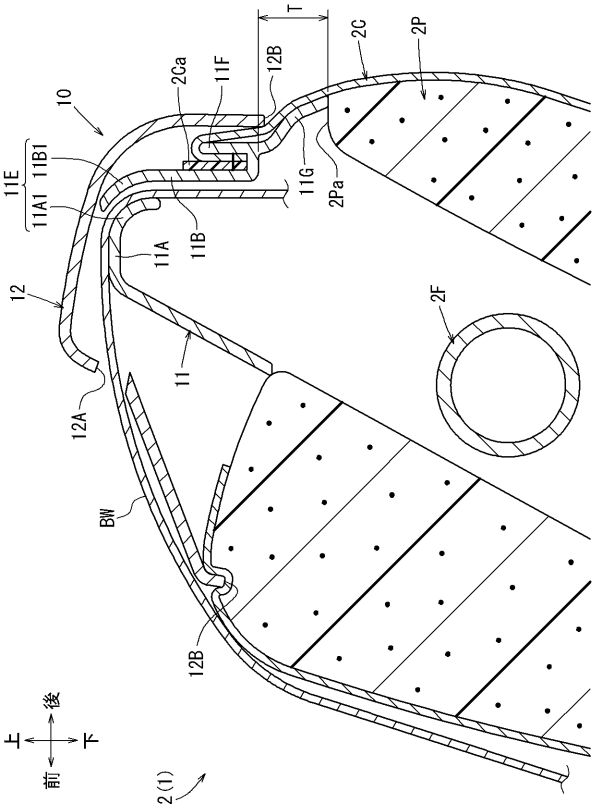
【００３８】

１　　シート（乗物用シート）
２　　シートバック
２Ｆ　　バックフレーム（シートフレーム）
２Ｐ　　バックパッド（シートパッド）
２Ｐａ　端部
２Ｃ　　バックカバー（シートカバー）
２Ｃａ　引掛プレート
３　　ヘッドレスト
１０　　ベルトガイド
１１　　ガイド本体
１１Ａ　天板部
１１Ａ１　内曲げ部位
１１Ｂ　後壁部
１１Ｂ１　外曲げ部位
１１Ｃ　内側壁部
１１Ｄ　外側壁部
１１Ｅ　通し部
１１Ｆ　止着部
１１Ｇ　形状出し部
１２　　ケース
１２Ａ　引出口
１２Ｂ　押さえ部
ＢＷ　　ベルトウェビング
Ｔ　　隔たり領域

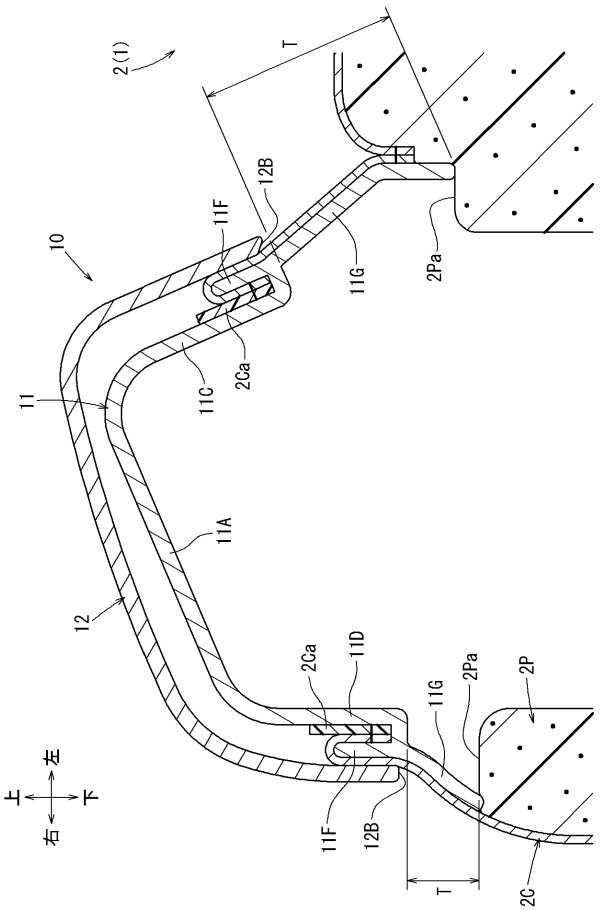
【図１】


1
2
2C
2F.2P
3
BW
Ⅲ
Ⅱ
10
12A
11
12
上
下
左
右
前
後

【図２】


T
2C
2P
2Ca
11F
12B
10
11E
11B1
11A1
11G
2Pa
11A
11B
12
2F
11
12A
BW
12B
上
下
後
前
2(1)

【図３】


2(1)
T
12B
11F
10
11G
2Pa
2Ca
11C
11
11A
12
11D
2P
上
下
左
右
2C